

科目ナンバリング		U-LAS04 20020 LJ46							
授業科目名 <英訳>	グループ・ダイナミクス Group Dynamics			担当者所属 職名・氏名	非常勤講師 山口 洋典				
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)	教育・心理・社会(各論)		使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2024・後期		曜時限	木2		配当学年	全回生	対象学生	全学向
(総合人間学部の学生は、全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。)									
[授業の概要・目的]									
<p>グループ・ダイナミクス(集団力学)とは、グループ(集合体)---- 一群の人々とその環境(物的・制度的環境)の総体---- の動き・変化(動態)を研究する学問分野である。</p> <p>その大きな特徴は研究スタンスにある。グループ・ダイナミクスは、現実の集合体(組織、コミュニティなど)の中に研究者が飛び込み、現場のベターメント(改善・改革)に向かって、現場の当事者ととともに協同的実践を展開するというアクションリサーチの性格を有している。この点、従来の文系の現場研究では、研究者が現場に入ることによって現場が変化してしまってはならないとされてきたのとは対照的である。</p> <p>当事者との協同的実践において研究者が果たすべき役割は、現場の言説空間(言葉の世界)を豊かにすることである。人間は、言葉を使って考え、言葉を使ってコミュニケーションする。言葉が豊かになれば、思考もコミュニケーションも豊かになる。グループ・ダイナミクスの概念的・理論的言説は、協同的実践の言説空間を豊かにするものでなければならない。</p> <p>本講義では、グループ・ダイナミクスの基本的な考え方に始まり、重要な概念・理論を紹介する。そして、それぞれの概念・理論が、現場の協同的実践の中でどのように用いられたのかについて、過疎地域の活性化の問題、地域における減災復興の問題、組織における人々の行動、職場で求められる心理的支援の問題(キャリア形成を含む)から実例を引きながら解説する。</p>									
[到達目標]									
グループ・ダイナミクスの基礎的な概念や理論を理解できるようになる。同時に、それらの概念・理論が、いかに現実の協同的実践の推進に貢献するかを具体的に理解できるようになる。									
[授業計画と内容]									
第1回 イン트로ダクション 第2回 現場の実践への学問的接近 研究者への警鐘「調査地被害」を理解する 第3回 現場の実践のための学問 グループ・ダイナミクスとは何か理解する 第4回 グループ・ダイナミクスの基本的な考え方 「かや」のメタファーから集合性について紐解く 第5回 当事者と研究者の協同的実践 社会構成主義における研究方法を理解する 第6回 事例が語る・事例を語る 成果物としてのエスノグラフィーからアクション・リサーチを理解する 第7回 活動理論 意味的集合性と物理的集合性を見つめる 第8回 中間まとめ 自らが理想とする社会のビジョンを描き、言語化する。 第9回 言語行為論 問題解決からビジョン構築への観点の変更に必要な要件を知る									
----- グループ・ダイナミクス(2)へ続く									

グループ・ダイナミックス(2)

第10回 規範理論

見えない側面を見抜く視点を獲得する

第11回 理論とは何か

理論を実践に援用する際に研究者・実践家に求められる姿勢を理解する

第12回 科学を科学する

2つのメタ理論で人間と自然にまつわる法則と物語に向き合う

第13回 人間科学の方法論

ベターメントの手法をめぐる研究と実践のあいだでの価値の相克に迫る

第14回 時間と空間の設計概念

「いま・ここ」の場へのまなざしを得る

学期末試験

第15回 フィードバック

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点】

学期末試験（100点満点）によって評価する。到達目標について、全学共通科目の成績評価の方針に従って評価する。

【教科書】

使用しない

【参考書等】

（参考書）

杉万俊夫『グループ・ダイナミックス入門 ---- 組織と地域を変える実践学』（世界思想社）（この本は、絶版になっているが、集団力学研究所のウェブサイト（<https://www.group-dynamics.org>）で無償でダウンロードできる。その他、参考図書については随時授業の中で紹介する。）

【授業外学修（予習・復習）等】

授業では授業内容に関連して複数の文献を紹介するので、自分の関心に応じて予習・復習に活用し、学びを深めること。

【その他（オフィスアワー等）】

積極的な発言を希望する。